社説

技術動員再配置寸刻を爭ふ

生産增強の基礎たる科學技術の綜合的且つ能率的な動員と再配置とが、今ほど切實に要請されてゐる時はあるまい。敵を本土間近く敵へ、作戰が要求する一大增産を達成すべく余裕なくされつゝも、現在なほ技術者の偏在が尠からず、生産行政と技術との一体化に十分ならざるものあり、たゞさへ不足勝ちな現場技術の如き亦、その爲層の緊要性にかゝはらず、依然として手薄であるとしたら、その過失は果して何物に例へ得るであらうか。

率直にいつて技術動員の必要性や方法等は、既に數度繰返しの實である。技術の不足が一般に騒んでいへられ乍らも、その一部企業への集中偏在は明かなのである。需用その他の所置によつて之を常時最も必要とする航空機、電波兵器及びその關聯產業部門等に重点的に再配置すべきである。この場合、軍需會社の生産責任者や關係者に因つて、地區別に技術指導の責任体制をとらしむるもよからう。或はまた技術指導班とも稱すべき國家的機關を設け、そこに技術者をプールして臨時臨所に適切な技術指導を加へるのも一方法たるを失ふまい。從來、技術者動員の場合臨時となつてゐたのは、當該技術者の所屬する企業体の資本關係と、監督官廳を異にする場合の許可等の問題であつたが、今はそのやうな点に拘泥してゐる場合ではない。

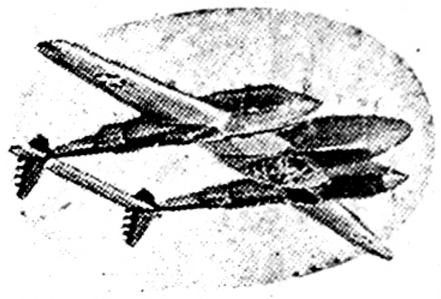
それにしても最も重要なのは科學技術者自身が、此際、國家の綜合に應じて自己を發揮した時である。自己門戸を閉して公開交流を阻む傾向が、遺憾ながらわが技術者にはあつたやうだ。各自が苦心体得した貴重なる技術なればこそ、國家の要請に應じて眞にそれを活かす心構へが切望されるのである。要するに、眼前ドイツで敢行せる技術動員を我國で敢行し得ない理由はない。今こそ國民擧つて之を行はなければ、悔を千載に殆すであらう。

わが本土を寫眞偵察
P38で空襲の瀬踏み

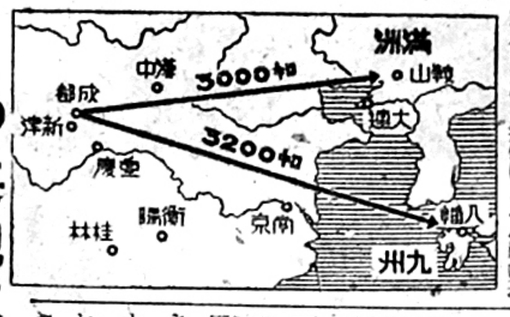
機狙ふB29大擧出撃

敵は日本本土空襲に際し距離、氣象などの天然の障碍を如何に處理しようとしてゐるか

即ちAP通信の重要特派員はB29の基地ができる前の昨年十月三十一日大尉ワーデレットがロッキードP38で日本本土の寫眞偵察行を行ひ三千五百二十キロを翔破し支那基地に着陸したと初めて報じたが、大尉（當時中尉）の偵察行は日本本土に対し支那基地からする米軍最初の寫眞偵察であつたことは確かだ、大尉は氣流と速度、燃料消費量、基地と目標間の最短距離などにつき長時間の計算を行つたが出発前に積載した九百ガロンの燃料は約一時間の飛行に足る七十ガロンを余して新たに編成した、眞偵察行の重要な任務の一つは十五分毎に氣象に記錄を作成することで、彼は「約二千呎」の高度で東支那海を横斷し「目標上空で三万呎の高度を取つた」と語つてをり、如何に距離と氣象を克服せんかと焦つてゐることが窺ひ、日本軍の衝陽作戰で米空軍基地の奪地後は敵更に大きな障碍を與へてゐるがB29の行動圏内において實爆撃から一歩を進め組織的爆撃に移行しやうと一切の努力を傾けてゐることは十分察せられ油斷禁物だ



写眞はP38長距離戰闘機



アメリカのU通信によると敵は基地外側を重爆重戰闘機基地で固め同時にシェンノート麾下の在支米第十四航空部隊から「腕利き」の戰闘機隊を選んで第三百十二戰闘隊（指揮官代行ギルクソン）を新編成してB29基地の内側周圍の防衛に當らせてゐる

次には米B29の大量生産により わが本土と滿洲への空襲規模と回數を如何にする心算であらうか

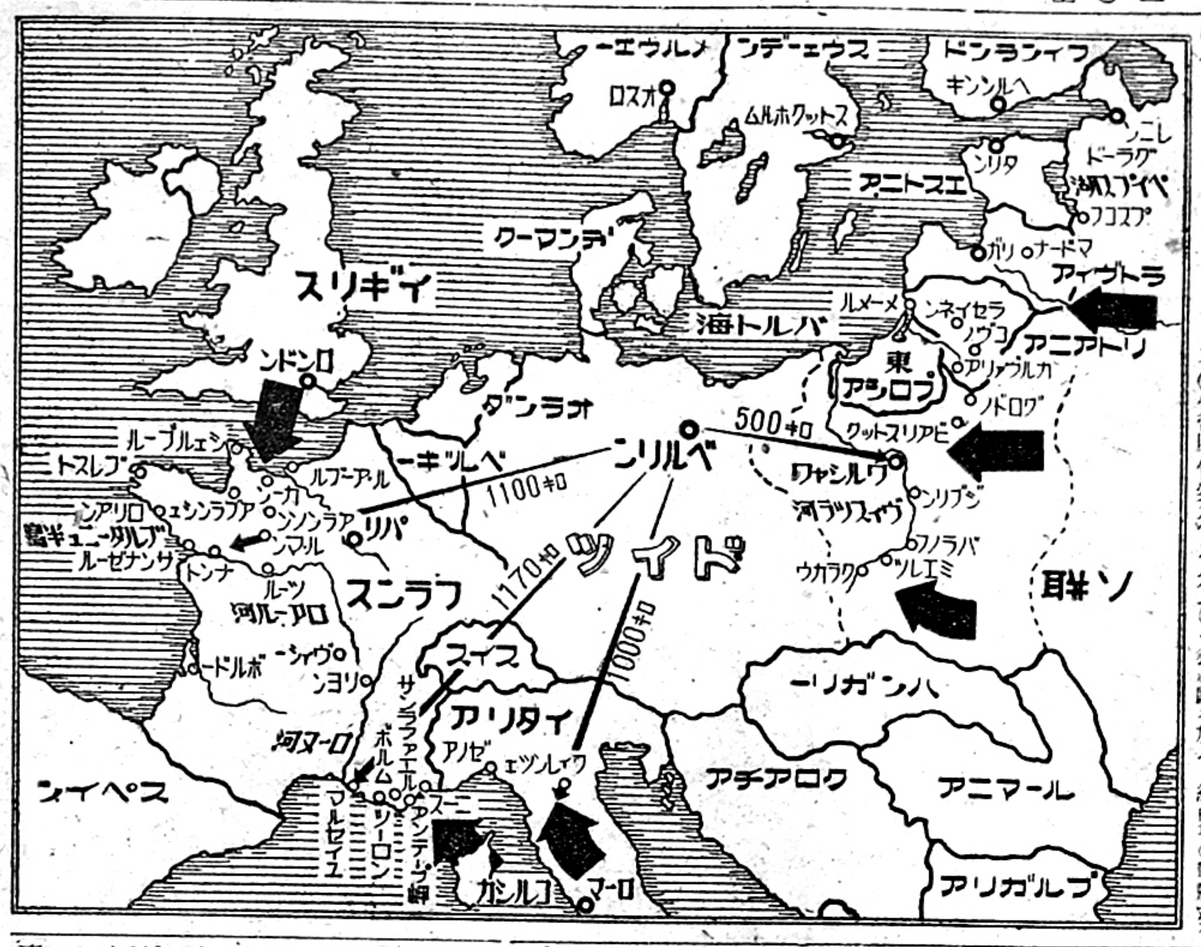
その最大條件は燃料、彈藥等の空輸で、英紙の報道によると最近の印支空路一ケ月の輸送量は約三千五百公路の最高輸送量一万五千乃至二万トンを既に越えたといひ、ロイター電によると六月中の空輸量はB29の輸送機改造で最高記錄を出したと報じ、又敵ミイトキーナ飛行場を使用し得ることによりヒマラヤ越えの印支空路が直線化され飛行距離が約一割五分短縮されさらに低高度ですむので燃料と時間の節約が出來るやうになつたといふ

敵は日本本土空襲に際し距離、氣象などの天然の障碍を如何に處理しようとしてゐるか

B29基地は新津

成都西南，

【大原十五日発同盟】最近成都からの情報によれば成都西南五十キロの新津がB29の基地であることが判つた、これは安嶺で土地を買上げ行政官員三名の公金橫領が行はれたため地主、農民が激憤、米空軍兵士を殴つたことから判明したものである



南佛ツーロンカンヌ間に上陸

敵三個所に漸く小據點

【ベルリン十五日発同盟】反獨軍は去三日間フランス南岸に猛撃を加へ、約百隻の艦船が有力な空軍に援護されコルシカ島西岸を出航、独軍は新上陸企圖として注視してゐたが十四日夜半すぎツーロン東方三十キロのボルムに最初の上陸を企圖したが

偵察機……の報告で待機せる独軍は砲撃台の十字砲火を浴せ僅かに上陸した約一個小隊を地雷原に追ひこみ全滅せしめた、ついで一、二時間後の十五日拂曉に至つてサン・ラファエル、カラマー岬間二十五キロを中心にツーロン港とカンヌ地區の間に艦砲射撃を加へた上、東はアン・テーブ岬付近、中間ではアルシヤン河畔のサン・ラファエル、ドラモン岬、西南のサン・トロペー岬、西はイエール灣など各地區に海上又は空挺部隊で上陸を企て特にサン・ラファエルではほゞ一個大隊の空挺部隊（約百名）が独軍一線後方に降下したが激烈な打撃を受け、且下下流西方コウノ、グロドノ間の攻勢もカルヴアリヤ、スヴアルキの線で頓挫、ピアリストックから西北進する攻勢もオンヴエッを入手した以外完全に阻止され、独軍は猛反撃に出で十四日ラセイ市を奪

増援軍……揚陸のためサン・トロペー灣を占據し、サン・ラファエル付近の飛行場を押へる作戰に見られ、独軍當局は十五日正午現在の上陸は偵察行動にすぎない、更に大擧上陸が豫想されると述べてゐるが、マルセーユ地區に等身大の人形兵士を投下して独軍の注意を外らさうと企圖した事実もある、一方ドイツ軍の大

地雷原……は敵力を発揮して反獨軍の進撃を阻みサン・ラファエル東方では將校一名と兵六十名が独軍に降伏した、ニースからツーロン間はデ・モール山脈ほかアルプス山脈の山つゞきで僅か數キロの平原を除き標高二百メートル程度の丘陵が東西に走り、独軍はこれらの丘陵地帶に陣地を構築してゐる

佛叛軍十三個師參加

今回侵入作戰の特徴はアルジエー佛叛乱軍十二、三個師が參加してゐるといはれ、これは北佛作戰に於て米英がド・ゴール側を積極的に利用しグルノーブル付近を中心に蠢動せる「佛叛乱ゲリラ部隊」と連絡させようとしてゐることが明かである

上陸目標二つ

【ベルリン十五日発同盟】反獨軍の新上陸作戰を独軍當局は次の如く説明した

❶イタリア北部とフランス南部との切断、コルシカ島との最短補給路を確保し得ること

❷北上するのに一番好都合なローヌ溪谷の戰略路を押へ北佛友軍との握手を狙ひ、同時にサヴア高地に蠢動する祖國の愛國を利用せんとしてゐる

北佛戰線

【ベルリン十五日発同盟】カーン東南方と南方の米軍はカルーシュ北方を目指し大攻勢を再開、數地區で独軍陣地に突入

ブレストの独軍は反獨軍の局地攻撃を粉砕した、サン・マロー、ディナールの独軍支援基地を堅持したがフォール・ド、ラヴアルトの独軍要塞は十四日夕陥落した

東部戰線

獨軍の反撃强化

赤軍各戰區で足踏み

【ベルリン十五日発同盟】独軍は東プロイセン防衛のためアウグスドヴオからヴイル、コヴイシユケンに亘り要塞陣地を構築して万全の措置を講じ、加へて反撃力の强化により赤軍は最近十日間の大出血に耐へかねニーメン下流の大攻勢を一時放棄した、同下流西方コウノ、グロドノ間の攻勢もカルヴアリヤ、スヴアルキの線で頓挫、ピアリストックから西北進する攻勢もオンヴエッを入手した以外完全に阻止され、独軍は猛反撃に出で十四日ラセイ市を奪回した、バルト方面の赤軍はリガを目指しプスコフ湖西南方、ラトヴイアのクルトビルス西北方、マドーナ付近の三地區で激戰を續けヴイスツラ河大彎曲部ではバラノフ、ヴアルカの赤軍兩橋頭堡を擴り大消耗戰を展開してゐる、独軍の反撃は漸々赤軍を壓倒してゐる

空襲に備へ

應急運輸の動員

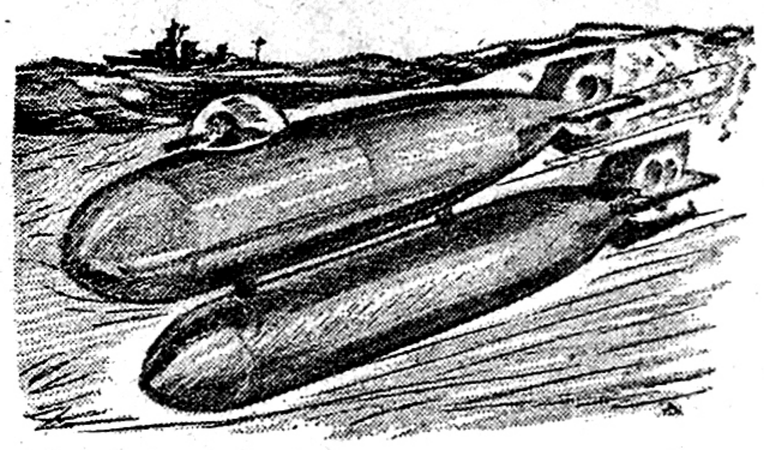
空襲その他非常における救護、復舊その他機能維持確保のため運輸省では「應急運輸隊」を十六日の臨時閣議で決定発表した、これは軍事輸送、緊急動員計畫の線を確保するところに重点を置き京浜、名古屋、阪神、北九州、最厳地區と周辺の陸海空輸送機關を動員、緊急發令の場合直ちに行動を開始するもので中央に大臣を長とする総本部、地方に行政協議會長を長とする地方本部また各都府縣には都府縣本部を設置する組織である

襲强の殺必

記戰雷魚人一

【ベルリン十四日発同盟】独海軍の新兵器「一人魚雷」乘組員の体驗談が次の如く発表された

「首をのけろ」頭の上でガラス円蓋がしまつた「さア用意しろ」といふのが最後の言葉だ、やがて魚雷は動きはじめ円蓋は一瞬水中に潜る、小型モーターが回轉し浮沈行がはじまると同時に最大の孤独感が訪れる



數時間の航行で最初暫く戰友魚雷の円蓋が見えたがこれも間に消えた、月を眺め夜光腕時計の文字板に目を走らせるが「正しい方向に走つてゐるのだらうか敵の網にぶつからないのではあるまいか」と不安が胸裡をかすめる、不意に激動が水中を傳はり魚雷は數秒間見えぬ力に動かされ鈍い爆音が聞え右側いくらも離れぬところに赤い焰の影が立ち上り

頭上を熱い波が通る「一体誰がやつたのだ、自分のやつた仕事を見詰てゐるのは一体どの戰友だらう」かと思ふ、やがて闇の中に幻の如く二隻の駆逐艦が僅か數百メートル先に現れる、右手の奴が照量の前に横腹をさらけだす

榴弾を動かせば敵は微塵だ「よさう、駆逐艦一隻位では承知しないぞ」魚雷を止めた昨夜出発以來はじめて止つたのだ、暫く休んで赤ゆつくりと動き出す、彼は左手に大型貨物船一隻を見付け直線コースを取る、八千トンもあらうと思はれる巨船の影は段々と不氣味に大きくなつて來る、照量をすかし距離を目測し

發射桿に両手をかけグツと握り締める、息を呑んで前方を見詰める「やつた、やつた」眞黑な海から不意に火山が噴き出したやうだ、艦が千切れ飛び忽ち黑煙と共に眞赤な火柱が中天高く立ちそれが消えてなくなつたかと思ふと海は喉を鳴らし獲物者を呑込んでしまふ、この夜他の戰友も皆この氣持を味はつたのだ、魚雷発射後、敵の探照燈に曝され駆逐艦に狙立てられ、また捜索機や快速艇に狙はれた人々も同じ事を味はつたに違ひない、だが見よ、僅か一つの魚雷に軍艦十數隻、航空機多數が大騒ぎするのだ、數百の火砲が只一人を狙つて発射されるのだ

吉野知事上京　會議出席のため吉野愛知縣知事、岡田參事官は二十一日午前七時半名駅発上京する

佐藤源郎技師に大東亞大臣感状

大東亞省では技術調査所技師報國技師大東亞技師佐藤源郎氏（三九）に対し昭和十五年一月以來今日まで大陸地下資源開発に献身した功績により十六日初の大臣感状を授與した

氏の功績中特記されるのは浙江省の鹽石鑛區と山東省の綿土資源開發の調査に開発実現を促進航空機用鹽の基礎を確立したにある

兵務部長會議　全國軍、師團兵務部長會議は十六日午前八時半から陸軍本省で開催、杉山陸相はじめ關係局長等から説明、協議を重ね午後五時半終了した

中小工場査察　名古屋市では十八日から九月七日まで中小二十余工場につき勤務配置、賃金支拂法、厚生施設、學徒動員報國隊の受入態勢および工場管理、技術改善、資材整理に重点をおき査察を行ふ

冷凍蜜柑

子寶手帳を持つ妊産婦と市指定病院の入院患者に冷凍蜜柑を一人に約百匁配給する

妊産婦は通帳1枚宛、患者は市発行注文券で十九日までに販賣所へ預約し妊産婦と小口消費病院は區域内の綜合販賣所から、大口消費病院は名古屋青果物特別消費組合から次の明間中に購入する、値段は百匁十一錢

【妊産婦、小口病院】二十三日東北、西、中村△二十四日桑、中

回覧板

千種、昭和△二十五日中川、港熱田△二十六日瑞穂、南【大口病院】廿三日から廿六日迄

愛知の藝能協會改組委員會

愛知縣藝能協會の改組強化については縣、產報、藝能振興團体三者で改組委員會を結成、十八日發會を開くが、從來の振興團体は一、二社に特定されてゐたのを今回は全縣下廿余社を包含、文化報國の高い使命藝能を

りよだ報産

船員

必勝の決意を新たにし

輸送の大任に當り

護國の英靈に應へよ

年少滿十四才で

戰列に加はるは

船員の特權なり

逡巡する勿れ

挺身せよ即時

父兄指導者の同意を期待す

東京都丸ノ内一ノ一帝國生命館

船舶運營會

文部省に學徒動員企畫課新設

文部省では學徒動員の統合企畫のため十六日総務局に動員企畫課を新設、文部書記官（総務局）加藤清一氏が初代課長に就任した

けふの座右銘

死生は晝夜の道なり、何をか好み何をか惡まん

（飛騨沢雲山）

戰があれば"夜がある"と同様、生があれば必ず死がある、俗人が生を喜び死を悲しむのは未だ徹底しないからである。死を怖れるものには何もできぬ。大西郷は「命、欲せば、當に生の前を觀るべし。晝夜は死生なり。呼吸名、官位、金のいらぬ人は始末に困るものなり。この始も死生なり」といつてゐる。

【解説・笠井南村】

放送

晝　○・一五　職場のうた「いさをを胸に」独唱と合唱「出船の港」尺八「鉢返しの曲」琴手木村士重、本手鑑田城重△一・三○　物語「右門捕物帖」中村又五郎

夜　△六・三○　ドイツ通信△七・○○　「海軍豫科生徒について」唐木大本營海軍報道部員△八・○○　農村へ送るター中継、俚謡「新津松坂」講談「眞柄のお秀」一龍齋貞丈、歌謡曲「素敵行」志村道夫、△九、○○　軍事手引「根據地」俚謡「長野縣の盆踊」長野縣下伊那郡旦開村